

學小  
唱歌集  
第三編

葛岡すゑ

八  
一  
七  
十

60

65

70

75

80

85











文部省音楽取調掛  
編纂

# 唱歌集

第三編

明治十七年六月刊行



## 唱歌集第三編

### 目次

やらばら

春の夜

なみ風

あふけは尊

ち

寧樂の都

才女

母のちび

小呂次集

目次

二卷



めぐりくる車

墳墓

秋の夕暮

古戰場

秋竹

富士筑波

園生の梅

橘

四季の月

白蓮白菊

學び

小枝

船子

鷹狩

小船

誠人の道

千里の道

春の野

瑞穂

樂しむ



菊

忠臣

千草の花

きのふ今日

頭の雪

さけ花よ

高山嶺

四の時

花月

治る法代

祝へ吾妻を

ふと

心ち王

招魂祭



第五十 やよひ民

一 やよみつこ。稲をうゑ。井の

水たへ。君の代ハ。後つみ

ら。身をいはへ。

二 やら清氏。萱哉か。わが

ちをふたへ。君の代ハ。百

ちびご。世をうゑれ。

(1)

第五十



1. ヤヨミタミイ子ヲウエ  
2. やよみたみのやをのり

井ノミヅタタヘキミガヨハ  
かわのやをふきてきみのよは

ハラツヅミウチミヲイハハ  
ありつゆしのぎよをわたり



5.6 5 3 5.4 4 3 2 6 1 3 5.4 3- 5.6

カスニキーユルカリガ一子一モカス

5 3 5.4 4 3 2 6 1 3 5.4 3- 1- 1. 2 2 1

カニヒービクフエノ一子一モヲサマル

1 2 2 1 2. 2 5 6 5 2- 5. 6 5 3 5. 4

ミヨ一ノ一シラベ一ニ一テタノシキハ一

4 3 2 6 1 3 5. 2 1- 5. 6 5 3 5. 4 4 3

ルノユフグーレーヤトモシビト一リテ

2 6 1 9 5. 4 2- 5. 6 5 3 5. 4 4 3 2 6

ムカシノヒトノアソビシヨ一ハモカカ

1 3 2 1- 1. 2 2 1 1 2 2 1 2. 2 3 5

リーケ一ンヨハサマザマ一ト一オモヒ一

6 5 2- 5. 6 5 3 5. 4 4 3 2 6 1 7 3. 2

シーヲムカシモイ一マモカクサキニホ

1- 1. 7 2 1 2 1 5- 5. 6 1 3. 2 1- 1-

フハナニ一ハーソムクヒトゾナキ一



第五十一 春の夜

一 かすみよきゆるがまのね

を。かきのりひびく。苗ふえの

きぬ。をさよまる法代乃。

しらべ。あけし

き。ゆふぐきや。

かきし。火ころりてむ。

のひやれ。あけび

あやと。あけけん。

世をまへ。あけけん

を。あけけん。

かきし。にほる。

あまに。あけけん。

人ぞなき。



第五十二

~ 3-4 653 1-2 3-1 3-3 5-4 2-1 2-0 3-4

レナミカセサカマクアヲウナバラニヤミ  
 るどらせ一なうそぶくあらやまなの、にやみ

653 1-2 3-1 3-3 5-4 3-#2 2-0 2-3 2-1

チヲタドレルフナビトアハレヤミチヲ  
 ぢーにまよなるたびびどわはれやみぢに

724 6-5 5-2 5-3 321 2-0 2-3 2-1 723

タドレルフナビトアハレイノチトターノ  
 まよなるたびびどわはれいのちとた一の

6-5 5-6 5-3 321 3-0 5-1 431 2 奈 1-||

ムハサヲカヂナレヤサヲカーヂナレヤ  
 むはともしびな一れやともし一びなれや

第五十二 ながし

一 ながしぜさかまき。あなうま  
 づに。晴路をたごむる。  
 ふれ人何をせや。ろを  
 たごむる。お人ありれ。命い  
 たのむ。標ちちれや。

二 舟さへうそづ。荒山かに。  
 ちらなまらへる。まび人  
 ありせ。やうらにまらへる。  
 格人ありせ。いのちとためむる。  
 ころり。火あれや。



(ホ)

第五十三

第九 第九 第九 第九 第六 第六 第五 第二 第二 第四 第六 第五 第三

ヲわホ  
オオマ  
シンド  
シるビ  
ガゴナ  
ワヒマ  
シシシ  
トミニ  
フフレ  
タむナ  
バにフ  
ゲヒユ  
フのサ  
アタア  
シのタ  
オみワ  
オオマ  
シンド  
クすラ  
イわジ  
ヤよム  
ハヤツ  
モモビ  
ニにシ  
ハちモ  
ニのト  
ノるノ  
へるタ  
シのタ  
キよキ  
イイイ  
バはバ  
ラララ  
サギサ  
ザギザ  
イイイ  
メメメ  
レレレ  
カのカ  
ワワワ  
ソソソ  
コココ  
マママ

第五十三

何ふダバ

一  
あふげばたふら。その所の思。  
夜の庭に色もやい。ゆきを。  
おふが。疾。こゝろ月。  
今こそわの。いざらバ。

二  
互。むつ。目づらの思。  
わの。及ふ。やらあす。乳。  
身を。名をあげ。やよは。めら。  
いま。わの。いざらバ。

三  
おゆふたふら。まほしの窓。  
ほる。火。む。白雪。  
今こそ。わの。いざらバ。



第五十四

(2) 5/8 1 1 1 1 1. 1 1 9. 2 2 2 2 2-0 9 4 4 3 3

1. マ タ タ ク ヒ マ ニ ハ ヤ マ フ オ ホ ヒ ウ チ エ ル ヒ  
 2. ヲ フ ヒ ニ イ ロ ド ル ハ シ を ワ タ シ ミ タ ラ ニ コ

6 6 5 5 4 3 4 3 2 1-0 1 7 6 6 5 1 7 6 6 5 1

マ ニ モ ヲ ミ フ ワ タ ル ク モ テ フ モ ノ コ ヲ ク  
 表 セ ぬ な ミ を お こ す ん も て ふ も の こ と 人

7 1 2 3 2. 3 2 2 3 9 4 4 4 余-0 5 1 1 2 2 2 4 5 5

ス シ ク ア リ ケ レ ク モ ヲ ク モ ヲ ア メ ト モ キ リ ト モ ミ  
 す し ん あ せ け れ 人 も よ ん も よ な き の ど お も 2 2 ば お

5 5 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 5 5 5 5 5 6 5 4 3 2 1-0 1 1

ル マ ニ カ ハ リ テ ア ヤ シ ク シ キ ハ ク モ ヲ ヲ ク モ ヲ  
 や ぞ ら お や ひ て の や し ん し き は 人 も よ 人 も よ

第五十四 雲

一

瞬間しゅんかんも。ちまをばかひ。  
 うららひまにん海うみをわら。  
 やいふはくうくすしくあわれ。  
 くららひまにん海うみをわら。  
 やいふはくうくすしくあわれ。

二

ゆふ日にいろざら。梅うめをわら。  
 うららひまにん海うみをわら。  
 やいふはくうくすしくあわれ。  
 くららひまにん海うみをわら。  
 やいふはくうくすしくあわれ。  
 おかひてあやしくあわれ。



1 1 1 1 2 3 5 6 5 1 1 2 3 2 2 1

1 ナ ラ ノ モー ヤ コー ノ ソ ノ ム カ シー ミ ぎ  
 2 ふ る き みー や こー の そ の む の しー ぎ

1 1 1 2 3 5 6 5 2 2 2 3 2 1 1 5

ヤ ビ ツー ク シー テ ミ ヤ ビ トー ノー ア  
 む ら のー ぎ しー て おー 侍 き み の 上 あ

6 5 6 5 5 5 3 2 2 2 1 2 3 4 5 5

ソ ビ マ シ ケ ン タ ツ タ ガー ハ ラー ノ モ  
 を び ま し け ん し の の はー な ぞー の は

6 5 5 5 3 2 2 2 1 2 3 1 5 6 5

ミ ナ バー タ ツ タ ガー ハ ラー ノ モ ミ ナ  
 な ぎ きー し の の はー な ぞー の は

5 5 3 2 2 3 2 1 1 1 1 2 6

バー イ マ モ ニ ホ フー チー シー ホ  
 きー い ま も に ほ ふー いー る の

5 5 5 4 3 4 5 2 1 1 2 3

ノー イー ロー ニー ノー コ ル カー タ  
 をー とー だー てー ぶ め る ずー の

5 6 5 5 6 6 6 5 5 3 1 1 2 3

ミー ハ チ ヨ モ ク チ セ ズ イ マ カ イー マ  
 たー は ち よ も の は ら ず い ま や いー ま

5 6 5 3 2 2 2 3 5 3 2 2 3 2 1 1

カート キミヲマツランソノモミナチ  
 やーと みゆきまつらんそのはなは



第五十五

寧樂の都

一 かつららのいやみのそれむじ。

こやびはほろろ。さびむらの。

遊びまゝけんたつとがら龍田川原の紅糸。

あつがりのそむむつ。今れにむふ。

しらべのきよのゆるかすみ。

ふ代もくもせび。今ういまのや。

表をまつらん。それむじ。

二 あつらにやろ。それむじ。

桜さくらあざけろ。あふきみの。

あまびりりけん。滋賀乃

つ園つどもれきた。一がのい

ぞれ。花きた。今そにりふ。

いろをそんて。あめりすけハ。

しらもかりしび。今やいよ。

行幸いんぎょうまつらん。それむじ。



(A)

第五十六

1. 1. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. ガキナガセル フデノアヤニ ニソ一  
 2. まきあげたる をすのひまー にき一  
 ザシムラサキ ヨヨアセ一 笑エ  
 み の こ こ ろ も し ら ゆ きー や ろ  
 カリノイ ロ コト バノ ハ ナ タ  
 せ ん の み 衣 お あ い の の 衣 め  
 グヒモアー ラジソ一 アイサ一 夢  
 に み る どー と き とー の ふ ぜー い

第五十六 女

一  
かたかなの飛ぶ。筆一  
あやに。そめしむらさき。

世に。あまのつゆ。  
おとばの。あまのつゆ。  
あ。そめいさを。

二  
またあがる。小簾乃  
ひま。君の。あまのつゆ。  
送あいの。ねめに。あまのつゆ。  
そめい。あまのつゆ。



學口歌集  
十  
子終反問科

(二) #

第五十七

5 3 5 1. 2 4-5 0 4 3 5 1. 2 i-0 1. 2 6. 2 i. 6

1. ハ ハ ノ オ モ ヒ ハ ソ ラ ニ エ ー チ ユ ー ク ヘ モ シ  
2. は は の な き け の な ぞ し こ ー よ つ ー ゆ な わ す

5 4 6 3 2. 4 2. 3 2-0 2 3. 4 5 3 4. 5 6 0 1

ラ ー ズ ハ テ # モ ナ ー シ ツ キ ノ カ ツ ラ ー フ タ  
れ ー そ め め み を ー ば い だ を ら つ す ー も と

2. 7 i-0 1 7 6 5 4 3 0 2 2. 2 7. 2

ヲ リ テ ー ズ イ ヘ ノ カ ー セ フ バ フ カ セ ツ ー  
だ て ー き は た を き ー る き だ を し め ぐ ー

1-0 1 2 2 1-0 2 2 5 1-0 2 7. 6 1. 5 1-

ル ア フ ー ゲ ア フ ー ゲ ハ ハ ノ エ イ サ フ  
ぎ し た ー だ し た ー だ は は の な き け を

第五十七 母のねぐさ

一  
ちんねねひい。ちんねね。

ゆくゆくちんねね。ちんねね。

はきの木を。ちんねね。

あふれをば。ちんねね。

あふげ。母のちんねね。

二  
母のちんねねの。ちんねね。

ちんねね。ちんねね。

ちんねね。ちんねね。

ちんねね。ちんねね。

ちんねね。母のちんねね。

小呂次集

十  
子終反問科



學中調集  
音解明譜掛

(口) 変

第五十八

第五十八 めぐる車

6. 7. i. 6. 7. i. 2. 6. i. 2. 6. 7. 8. i. 2. 6. 7. 8. 9-00

1. グレ ル ク ル マ ナ ガ ル ル ミ ツ  
2. い は ね を つ た ふ し プ の ミ ブ

ワ レー ラー ハイ コ ヘ ド ヤ ム マ ナ シ  
つ も れ ば つ ひ に う み ど な

1. マ ツ フ カ ゼ ハ コ コ ニ シ テ オ モー パー  
あ ツ ぢ が ム ヨ ム ハ に シ の 一 れ エ お もー ばー  
ハ コ ツ ゴ ス カ ヨ カ ハ モ シ の キ エ オ オ モー ばー  
ハ コ ツ ゴ ス カ ヨ カ ハ モ シ の キ エ オ オ モー ばー

ハはハ レれレ ワわイ ガがツ ナをレ キキナ チはヒ チはト ノのノ オおナ クらキ ツツア キキト ドドナ ココレ ロろヤ

第五十九

第五十九 墳墓

一 めぐる車。ちがらる水。わせつハ  
いこへや。やむ間を。

二 岩根を流る。つづる水。積る。は  
はらへ。海やちる。

第五十九 墳墓

一 ねろく。ゆる。あつる。し。い。ち。  
おらへ。ありせ。わづら。せ。父。乃。  
奥津城。ごころ。

二 沙路が。あつる。む。し。ろ。ね。れ。い。  
おらへ。ありせ。わづら。せ。母。乃。  
おくつ。さ。ご。らん。

三 岩むす。境。を。又。な。さ。へ。消。え。え。  
おらへ。ありせ。わづら。せ。の。ひ。と。乃。  
ち。と。れ。あ。せ。お。ま。や。

小昌次集

十一 音解明調掛



(1) 夏

第六十

第六十 秋の夕暮

ハコア ナコハ ヤルレ モナサ ミキビ ナミシ 二 モモヤ オカイ  
 ヨハロ アレハ モシナ ノレケ カドレ 二 ハヤド ウシマ ラギキ イタタ トフツ マモヤ  
 ヤハマ 二 ノノ アアア キキキ ノノ 二 ユユ フフ ググ グレレ

第六十 秋の夕暮

一 花や紅もあはれ。なよぶものぞ。

満ちとまよの秋はゆきぞ。

二 ナつらふさむらさき。あはれさな。

鴨も澤のしづめの夕暮。

三 あらきさびや。さへあはれど。

松の川もあはれ夕暮。

學唱歌集 音解歌集



(11)

第六十一

第六十一 古戰場

一 屍ハ朽て骨こぢり又ハをばして。

しきしきと今くく魔くはたす。

鼓のねらう風。

二 人動くはずゆきし道はうれて。

あまらぬしあをばすはあは荒れが。

それなる代は朽ぢし。



(1)

第六十二

第六十二  
秋州

1. 2. 3.  
 1. 2. 3.  
 6 0 0

ホはス 一 二 一  
 ガの ス  
 サギ ナ  
 アは バ  
 ルン  
 タお ラ  
 リキ ク  
 コシ 子  
 ノに マ  
 キヤ レ  
 夕の 文  
 ヤナキ  
 イタ カ  
 ノま せ  
 チニ  
 トモ モ  
 タツ  
 ノカ  
 ナヌ  
 ふる ニ  
 ムツ  
 ヤナキ  
 二 二  
 ホは ス  
 二 二  
 ナの ス  
 サギ ナ  
 アは バ  
 ルン  
 ザル  
 サガ タ  
 アミ  
 王ツ  
 ユウユ

第六十二 秋州

一  
 秋の夕陽の影を  
 庭にうつす。ほろろと  
 落ちゆく。さびしき  
 心よ、静かに沈んで  
 しまふ。

二  
 夕陽の影は、ほろろと  
 落ちゆく。さびしき  
 心よ、静かに沈んで  
 しまふ。

三  
 夕陽の影は、ほろろと  
 落ちゆく。さびしき  
 心よ、静かに沈んで  
 しまふ。



學唱歌集  
音階

(ハ)

第六十三

0 0 6 7 17 6 4 9 0 0 4 4 4 4 0 6 7 8 4 9 2 3 0 3 2 4 4 9 9 7

1. スルガナール フジノタカ子ヲ アフキテモ  
2. つらばはの このもあのもも てらすなる

6 7 7 1 6 4 4 4 3 7 0 6 7 1 1 7 6 4 0 9 2 9

ウゴカヌミヨハ シラ --- ヴ --- ケーリ  
みよのひあまぞ のま --- あ --- たき

第六十三

富士坑波

一 駿河<sup>すろ</sup>なる。あ<sup>が</sup>のき<sup>す</sup>ねを。

あなごも。あ<sup>ら</sup>ぬ清代を。

~~~~~

二 はく<sup>き</sup>のの<sup>こ</sup>ろの<sup>あ</sup>かみ。

~~~~~ みるけり。

あ<sup>り</sup>か<sup>さ</sup>ね。



0 0 4 6 6 7 6 1 1 2 6 7 7 6 4 4 3 4 9 2 2 2 3 2 7 0 0 1 1

ハル --- ノ --- キ --- ヌ --- カド  
 やま --- み --- れ --- ぼ --- ゆき

1 2 6 7 6 6 0 7 7 1 2 6 7 7 6 4 9-0 0 2 3-0 4 7 9

タ --- ノ --- ユキ --- モ --- ムラ --- キ ---  
 ろ --- あら --- ぬ --- ろ --- そ --- こ --- の ---

7-7 6 7 3 3 7 0 0 0 0 2 4 8 7 2 6 2 5

エ --- テ --- ワ --- カ --- ナ --- ツ --- ム ---  
 し --- こ --- き --- ん --- ら --- の --- は ---

7-2 3 7 0 0 6 6 6 7 6 1 1 7 6 7 7 6 4 2 2 3-0 0 0 0 0

ベク --- ノ --- ハ --- ナ --- リ --- ヌ ---  
 なも --- きき --- そ --- め --- ぬ ---



(イ) 変

第六十四

44-4344 0 77764 443233 004647 7467644

1. ソノ フーノ ヲ --- メ --- ノ --- オヒ --- カ ---  
 2. やよ ひーの --- と --- ら --- に --- の 庭 --- み ---

2200 0000 0044 43237 03323 4-7764

---ニ ---バ

ワガ ス --- ム --- ヤ --- マモ ---  
 すみ れ --- の --- は な --- きム ---

第六十四 園生の梅

一 そのふれ梅乃。追風。わがすむいふ。

きりめぬ。門田。おん。む。い。い。

あ。葉。つ。む。ぶ。く。あ。ら。ち。う。ぬ。

二 徐生のそらに。野。い。れ。ば。葉の

い。ち。く。い。れ。ば。い。い。い。い。い。

か。こ。梅。の。い。い。い。い。い。い。



しほりの里けの橋。

きりりたかをりぞすねる。

二はそばの母やえらり。

よにあつたこのはら橋

なつかき。あまはほへ。

一ちり実る。父やえらり。

第六十五

橘 たちばな

(い)

第六十五

3 3 2 5 6-0 2 2 7 7 6-5 3



1. チチノミノチチヤモウエシ  
2. ははをばの ははやも うゑし

ナツカシキカニコソ  
したはしきあをまぞ

二す小なへるヨニフルサトノ  
ちはちばいな



(ト)

第六十六

2 2 7 6 5 3 2 3 5 6 5 2 7 6 5  
 1. 2. 3. 4.  
 サホミ サホミ キメル 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ホキ下 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ヤにコ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハヨミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノヨモ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 サミコ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 タキニ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ラホシ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのニモ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 カシタキ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 スハカ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ミチ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 テハシ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのセの 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ヲホオ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハタキモ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ニニ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 カシタキ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 スハカ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ミチ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 テハシ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのノ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 コヨミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのノ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ツツ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 キヨキヨ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ハミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ルツキ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのノ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 コヨミ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ノのノ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 ツツ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二  
 キヨキヨ 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

第六十六 四季の月

一 さだにひふ。やまのけしき。  
 りふのうへ。あきそいで。  
 すすけすけ月。

二 るすけ。なつそのま。  
 はゆけうへに。ばらやう。  
 夏のかげ月。

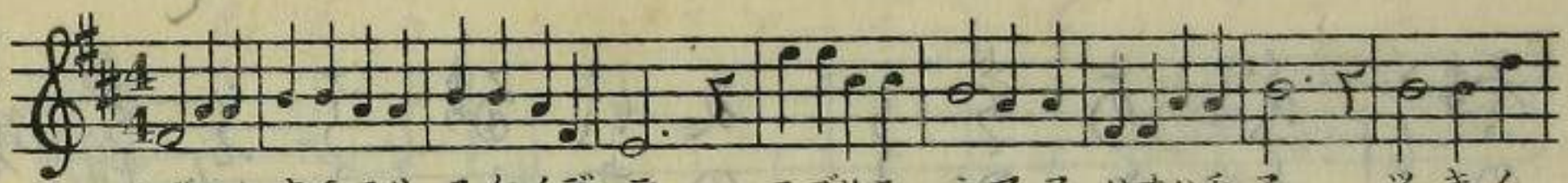
三 こほひのうへ。あつたけ。  
 まのあつたけ。あつたけ。  
 あつたけのうへ。

四 むらさき。あつたけ。  
 いけのうへ。あつたけ。  
 冬のうへ。

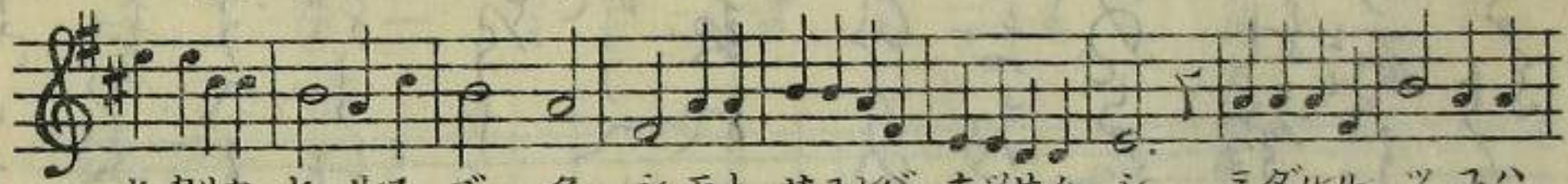


(二)

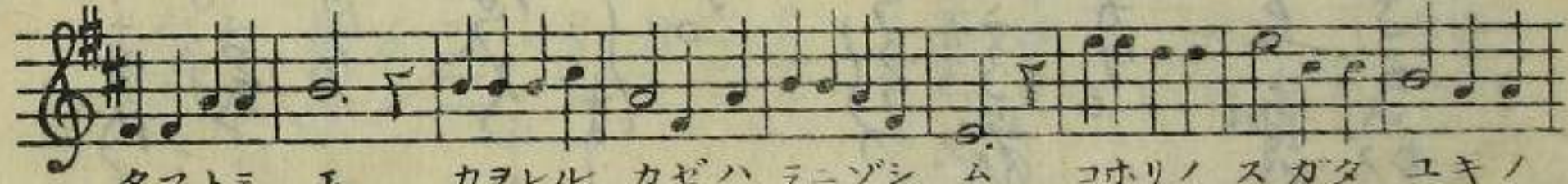
第六十七



1. フロウチヨリヌケイデテ ニゴリニシマヌハナハチス ツキノ  
スギキモ一れしそのうち ゆきにもいろはまきぎぐき いただん



ヒカリカヒルスゴクシモトサユバナツサムシ ミダルルツユハ  
一もはみをよそひぎやくつ一はるににふ つ一ゆはるすど



タマトエ カヲレルカゼハエニゾシム コホリノスカタユキノ  
きんのみづ うめはみぎをのおのども やみのよはぎなてらす



イロツユナケガシソヨノチリニ  
なまどり理のも一とに ふみやみんふみやみ一ん

第六十七

白蓮白菊

一  
泥のうしろよりぬけいで濁りにとすぬ。  
をる蓮月のひりりり。ちりまきいりく  
おとさゆきうば友さむし。乱る。あは  
たまやうえかききる風い。必にぞ志む。  
氷のすがら。おのろ。はゆまけがしそ。  
せろせろりり。

二

雪本をかき一園の中。雪にも色ハ。  
まらりぐきいしくあひ。おとよまらひ。  
はえゆく月ハ。あまにらふ。あはくすりこ。  
たぐの水。梅ハ。さきをえ。おれらうらえ。  
晴る夜をけへて。いさなり。あはれ。  
あやに。まや。い。



第六八

1. 2. 3.

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マ | ナ | ビ | ハ | ワ | ガ | ミ | ノ | ヒ | カ | リ | ト | ナ | リ |
| お | で | ぞ | は | わ | あ | み | の | め | た | ど | ぞ | な | る |
| マ | ナ | キ | モ | エ | イ | カ | モ | コ | コ | ロ | ノ | マ | マ |
| お | で | ユ | め | ウ | る | ア | な | こ | こ | ろ | の | ま | ま |
| マ | ナ | キ | モ | エ | イ | カ | モ | コ | コ | ロ | ノ | マ | マ |
| お | で | ユ | め | ウ | る | ア | な | こ | こ | ろ | の | ま | ま |
| マ | ナ | キ | モ | エ | イ | カ | モ | コ | コ | ロ | ノ | マ | マ |
| お | で | ユ | め | ウ | る | ア | な | こ | こ | ろ | の | ま | ま |

第六八 學口

一 まはびはわづらひ。さうりどなり。  
まはび。えいご。  
 ぬきを。えいご。

二 鶏はわづらひ。わづらひ。  
わづらひ。  
 ねくゆるすま。らんのか。

三 学口はわづらひ。わづらひ。  
学口。  
 ねくゆるすま。らんのか。



(ト)

第六十九

1. サ エ ダ ニ ヤ ド レ ー ル  
 2. わ ろ や に あ ひ ぬ ー る

こ き ち み 三に 一 モ ナ ラ と 一 シ  
 る

コ ト リ サ ハ レ イ ハ シ ル  
 い ぬ き だ ち お 人 は し る

ソ ノ セ ト ラ ソ ス ル ナ ヨ  
 ま す ら を よ み を つ ら ヨ

第六十九 小枝

一 けえぶにやどれる。小鳥さへ。

後ハ ー 道をおきし。

その人を。あするたつる。

二 吾あふりぬる。火はへを。

恐ハ ー 君をつかふる。

大夫まら。身をつくせ。



第七十

船子ふねこ

一 やよふる子。こげ船を。

やよふる子。

二 ちかみちて。風ちかぬ。

やよふる子。

Handwritten musical notation for the first two verses.

(二)

第七十

Printed musical score for 'Fune' (船子) in G major, 6/8 time. The score consists of two staves. The first staff has two systems of lyrics: System 1: 1. ヤ ヨ フ ナ コ コ ゲ フ 子 ラ 一 2. し 不 み ち て の ぜ な き ぬ 一. The second staff has two systems of lyrics: System 3: コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ ヤ ヨ フ ナ コ 一 4. こ げ ま こ げ よ こ げ よ こ げ よ や よ ふ な こ 一.



第七十一

たうがう

一 ちうらみの音を。手にすゑら。

馬うまが。いさめら。

すはやねが。ゆけ。

二 雪はねが。ふき。

犬いぬが。かき。

鳥どりが。そら。

(二)

第七十一

1. シラフノ タカヲテ ニスエモチ  
2. ゆきはの ぼばにふ れふれふれ

ウマニマ タガリ イサメ ルキ ミ  
いぬはの ぼをの されの れの れ

スハヤカ リバニユ ケユケユケ  
ど王だむ れたつセ せせせ

學口歌集 音律歌集



第七十二 小舟

一 流るる水のうへにさくらを

うへにさくらをさぐね。

庭にさくらをのうげ。

二 洲津をえびさよりみねを

さくらをえびさよりみねを。

そと 神あそびの活。

(ト)

第七十二



1. ナーガ ルル ミヅ ノー  
2. ふーち せも みえ ずー



ウヘニモサ クハナコ コロセヨヤ フブ子  
そらよま ち る は な こ ころ せ よ や を ぶ ね



ソーコニモハナノカニ  
そーで に も は な の な ー ー ぬ ー



一 まるごとく一人の道ぞかゝつゆれそむたそ。そみちろ。

二 なるるハ神代。まそのぞ。あなもが。そ。おの。の。ま。を。

一 ちりの道ハ。是れとよりぞ。始まる。あふ末の。あな。積を。ハ。測と。ちる。そ。か。

二 雪なる山を。塵ほ。ちら。ちぞ。ちれりける。書よむ。さ。ん。こと。わり。け。み。ハ。ひと。つ。れ。ろ。

第七十四

千里のみち

第七十三

誠人の道

(f)

第七十三

Handwritten musical notation for No. 73, consisting of two staves in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The lyrics are written below the notes.

マコ トろ は は 二 トみ の きた ま ぞ 二 カ 二 せ  
 ツろ ち な け 合 き 二 せ 二 せ の きた ま

第七十四

Handwritten musical notation for No. 74, consisting of two staves in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The lyrics are written below the notes.

ま け ち  
 ふ ぶ ま む め ち

學口

音響版調科



(1) 後

第七十五

第七十六

第七十五 まきの野

一 いつりちよもきえりけり。  
 梅はく野を過りいざゆかん。  
 二 みかきりもももえぬまら  
 わかちつむもももらむきて。  
 三 柳乃いやくもなびくちなり。  
 らるるをのべにあそびま

第七十六 瑞穂

一 蒼生のいれちの種とかしを  
 種れたたまはるるねぞ。  
 二 採る手をとたゆさ山岡の子苗  
 ゆけよ秋のたのしみ。  
 三 わづのにのる門岡のつゆを  
 刈るまて踏む夕日のくげも。  
 四 新掌つゝの種をどまいる。



(二)

第七十七

1. タノシワレ マナビモヲヘ ヒモクレーヌ アー  
 2. うれしわれ ふみよみはて ひもムレヌ あー

スモ マタ アサ トクヨ リマ マナ バマ シカ  
 すも たあ さど くんよ りま つど めま しかの

クム テト シ ツ キ タ エ セ ガ ラ パ ツ  
 ぐむ てと し つ き た え せ が ら ぱ つた

キノ カ ツ ラ ヲ モ ワ レ ゴ ヲ ル ベ ニ キ  
 のか ぎ ど な る た も と ろ だ れ る だ べ に きし

第七十七

あふれ

一 たのしわき。まなびもをへ。  
日をくれぬ。あすをまへ。

おそろひ。まなび。かろ  
年月。たえせざらば。月の桂  
をを。くれぞをるべき。

二

うき。あま。あみよはて。  
ひをくれぬ。あすをまへ。  
おそろひ。勉め。かく  
ころ。接ま。おそろひ。あま  
なら。玉をころべ。



第七十八 兼ま

庭にわのな草くさ人ひとむむれれねねなな。

かかままててささびびくくちちややににくくりり。

ほほくくちちららぢぢくく。吟あ呼い白はく菊ぎく。

ししととりりおおろろれれててははちちととくくりり。

二  
つつけけりりたたわわむむやや菊きく乃の花はな。

ちちよよららににおおろろるるややちちよよのの心こころ。

ああくくりりぢぢくく。吟あ呼い白はく菊ぎく。

人ひとののみみききををんんかかくくててららうう。

第七十八

The musical score is written on four staves in treble clef with a key signature of two sharps (F# and C#) and a time signature of 3/4. The lyrics are written below the notes, with some syllables aligned with specific notes. The lyrics are: 庭のな草人むれねな。かまてさびくちやにくり。ほくちらぢく。吟呼白菊。しとりおろれてはちとくり。つけりたわむや菊の花。ちよらにおろるやちよの心。あくりぢく。吟呼白菊。人のみきをんかくてらう。



第七十九

第七十九 忠臣

1. アアカガハシクスノフタモト アアタラセハ  
 2. あああがはしはすなのふたもと ああたらせは  
 ナトガハマナチノオトモトモニゾシムナレ  
 ソ一のアハレノイサマト アシシアア アシシ  
 キヤダいのヒトチアシシ タグヒナヤ

一 嗚呼香ぐいし。楠の二本あはれせ。  
 みるを川。浪のきよき。力にぞしむ  
 あり。そありき。その功績忠臣  
 嗚呼忠臣。兄弟の人。忠臣あり  
 忠臣。たぐひなや。

二 嗚呼くぐは。心の二もあがるり。  
 芳野のやま。ちりちり。世にぞうけき。  
 それらうや。そのまらや。あはれ  
 あく忠臣。兄弟のひと。忠臣嗚呼  
 忠臣。たぐひなや。



(ハ)

第八十

1. 千草の花  
2. 千草の花  
3. 千草の花

チにまハキ  
グナしみカエ  
サカキチエ  
ノををキタ  
ハミまモモ  
ナセゼノ  
ハハふララ  
ツツはタタ  
ユキまほレ  
マヤのメト  
ソトはデハ  
メルをキン  
ソウア  
マメト  
ラのア  
ヌのル  
イモモ  
ロとノ  
トとハ  
ソキア  
ラエデ  
カハハ  
ノ四ノ  
グバナ  
ハカ  
カダラ  
ナリ  
キラ  
モ  
ノコ  
カモ  
ヨ  
レチ  
ニ  
ナ  
カ  
ハニ

第八十 千草の花

一  
ふさふさの花は。露をその。野中  
の  
水は。月やぶら。そまぬ。いと  
うげ。そのちたもの。よの中

二  
鈴をよそふ。秋のそ。もみぢを  
さそふ。秋の。最。あ。の  
消ゆの。本。枯。なり。おまぬ。

三  
はう。おき。の。を。海。め。で。ん。き。え。ゆ  
も。を。た。ま。こ。は。ん。あ。の。の。葉  
の。心。か。を。を。の。を。ほ。の。に。

(ハ)



(一) 夏

第八十一

一 きのふりりゆきほひをまきふして。  
 友れぬ屋かへり世燃きぬ君は  
 ゆたてふらぶくき  
 あら影わが友花はあしあとし  
 もあくるた枝にゆき  
 二 松を岩磐折は代人の世のこ  
 つねあやにゆる菜さへ人の  
 世にかしはる  
 ありきわが友君をおたて友  
 ちねたちつたつあまつ

一 きのふりりゆきほひをまきふして。  
 友れぬ屋かへり世燃きぬ君は  
 ゆたてふらぶくき  
 あら影わが友花はあしあとし  
 もあくるた枝にゆき  
 二 松を岩磐折は代人の世のこ  
 つねあやにゆる菜さへ人の  
 世にかしはる  
 ありきわが友君をおたて友  
 ちねたちつたつあまつ

第八十一

一 きのふりりゆきほひをまきふして。  
 友れぬ屋かへり世燃きぬ君は  
 ゆたてふらぶくき  
 あら影わが友花はあしあとし  
 もあくるた枝にゆき  
 二 松を岩磐折は代人の世のこ  
 つねあやにゆる菜さへ人の  
 世にかしはる  
 ありきわが友君をおたて友  
 ちねたちつたつあまつ



第八十二

Musical score for '頭のかげ' (Kage no Kubi) in G major, 4/4 time. The score consists of four staves of music with lyrics written below. The lyrics are: 1. 1. おおさわのなをみおもひもはしはらばらへる。 2. おおさわのなをみおもひもはしはらばらへる。 3. おおさわのなをみおもひもはしはらばらへる。 4. おおさわのなをみおもひもはしはらばらへる。

第八十二 頭のかげ

一 草木にのをも。おもひをま秋  
 とく。く。れ。は。隔。て。ぬ。長。の。  
 頭かしらも。お。も。ひ。の。う。き。と。お。も。ひ。

二 花はななみをも。あけても。久ひさた

少すくし。は。さ。ら。れ。く。頭かしらの。き。の。ま。へ  
 り。を。う。は。ら。る。の。ま。へ。を。う。は。ら。る。の。ま。へ。



1. 2. 3. サナ ケケ ハのカ ナゼハ ヨヨサ サハヤ クるヨ ノゼケ ハのカ ナケハ ヨヨサ ノモク トキモ ケタユ キるク ハハミ ルナツ ノモク

サナ カラゴ リシラ ノぬ又 トカミ キヨヨ ニにニ サナ ケケ ハのカ ナゼハ ヨヨサ サハヤ クるヨ ノゼケ ハのカ ナケハ ヨヨサ

4. 5. な け ど よ う め ひ す な け よ せ き た る は な の  
ヤ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ビ ト ナ ウ タ ウ グ ヒ ス カ ハ ツ

セウ タ マ の バ は る に な け ど よ う め ひ す な け よ  
ウ タ マ の バ ウ タ フ ヤ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ナ ウ タ



第八十三 ち々る

一 ちあふふと。ちくくのそよ。  
 乃やけたすき此。ちくくのそよ。  
 ちけたる。桜花をぬる。  
 二 あけのせと。ま風ふけと。  
 さあつるそよを。ちくくのそよ。  
 ちけゆと。ちくくのそよ。

三 ちけ榎。ちちたけかけら。  
 すみゆく水の。にらぬは代よ。

ちけうい。ちちたけ榎。

四 ちちたけ。ちちたけ。

ちちたけ。ちちたけ。  
 ちけらら。ちちたけ。

五 ちち人よ。ちち人よ。

ちち人よ。ちち人よ。  
 ちち人よ。ちち人よ。



三

ワザヲタスバケシメ  
 ナサナシバケシメ  
 ニモヒツハドイデニケリ

(1)

第八十四

1. タカ子ヲコエテヒハ  
 2. フカ子のコエテヒハ  
 イデニケリ



第八十四 高嶺たかね

一  
 くらゐのねをうへえく。  
 日無いごとにもわ。  
 わのたすもぢを。  
 たすけ森しうん  
 へ。日るいぢや  
 けり。

二  
 つた目れうげを。

月の身のまをり。  
 空むらくかすれ。  
 志げし乃いあを。  
 法やあらをげん。



ヨツノトキナガメゾツキヌハルハハナオリナスニシキ一

アキハツキマスモノカガミナツゴロモカトリモスズシフユ

ノアサケユキモヨシヒトノヨハタノシキモノカ

カミノオンクニノオンキミノオンワスルナーヒート



第八十五 四の時

一  
 よつのごとく。たづのめぞ  
 けおぬ。まをばは邪。  
 おりまはは縁。あはたを  
 月。ますすはひのい美。  
 なははごらんも。かやうを  
 す。冬れあはき。

おもえより。いよる  
 せら。あははははのう。  
 けは思。國乃なん。  
 君の思。あすのあ人。



(1) 音

第八十六

Musical score for 'Hana no Ue' (Flower on Top). The score is written in three systems, each with a treble clef and a 2/2 time signature. The lyrics are written below the notes.

Lyrics for the first system:  
 1. ハツヨ ナキキ マキラ ミミキ ルルテ トトク キキツ ハハリ ココア ココク ロラテ イシミ トフテ タのサ イ女ケ

Lyrics for the second system:  
 シゴヨ ココア ココケ ロラニ タシマ シシキ ハハ アナカ ノのク メメダ ル マト オオイ リセフ

第八十六 花月

一 心をくくる時。くろいだけし。

ふゆは。こい。も。の。め。ぐ。み。あ。り。

二 月をくくる時。心きづつ。うらみ。

あ。ろ。ろ。お。か。ら。な。く。た。の。ま。つ。ち。う。

三 心をくくる時。悪をみ。く。く。る。

あ。け。ま。つ。あ。い。ま。つ。あ。の。く。ち。の。こ。い。ふ。







(ト)

第八十八

1. イ ハ ヘ ワガキミヲ メグモノ シキナモ ヤシマニ アフレ アマ子キ  
 2. い は な わがくに を みづかの おしほは のもせに みちて しるは社

ハルカゼ クサキモ ナビク イハヘ イハヘ クニノターメ ワガキミヲ  
 こゝろは なぎき ぞの 心 いはな いはな きみの心め わがくにを

第八十八

祝へ吾君を

一 祝へ吾君を。あゝのまはる波や。またに

あゝまはる波や。またに。あゝまはる波や。またに。

いはへ。國の君。わが君を。

二 祝へ吾國を。瑞穂のやわら。野を。せ

に。まらで。志ろ。うね。黄金花。咲。菜。ゆ。

いはへ。君の君。わが國を。



(一) 後

第八十九

1. ヤマギーハ シラミテ スズメハ ナキス ハヤトク オキイデ フミヨーメ  
 2. ふみよーむ ひまには はなごーむ めでよ どぞなき はななき たのしーみ

ワガコ フミヨーメ ワガコ フミヨム ヒーマニハ ハナトリ メーデヨ  
 つきざ たのしーみ つきざ あめつち ひーらけし はじめも あーらぞ

第八十九 花鳥

一 山ぎらちりり。雀はかたぬ。や疾く  
 おたいで書よめわ。う。子まよめ吾子。  
 う。とせむ。ひまた。に。花をめでら。

二 書らむ。ひやに。花をめでよ。鳥を  
 心。あ。たの。し。つ。た。ず。あ。つ。た。げ。

あ。あ。あ。あ。  
 て。地。ひ。け。け。け。け。か。か。ぞ。



(ハ)

第九十

第九十

ヨハニ  
コホツ  
コタキ  
ロルカ  
ハをケ  
タワシ  
マツタ  
ナホヒ  
リでテ  
クママ  
モナナ  
リビビ  
モシシ  
アヒヒ  
ミト  
ミハ

ヨハニ  
ルカ  
ヒヨリ  
ルハラ  
ツモウ  
トケ  
メエ  
ミテ  
ミヨ  
カハラ  
キコ  
ニソ  
ミソ  
カハラ  
ミレセ

第九十 心ハ玉

一 ころろハ玉ちり。思ふもあはれ。

よる書物も。みぢかき磨け。

二 夢をあはれ。まれば一人を。

ひかりハ。まら。身にさそふ。

三 月影志。ひて。夢び一人を。

ひるも。城へ。せ。世をこそ照せ。



第九十一

5 3 5 4 2 3-4 6 6 4 3 2-4 5 5 6 6 5 4 1 7 6 5 4 5

1. ココニ マツ ル キミガ ミタ マ ランハクダケテカニニホーヒ  
2. ここに まつ る せんしのひと 不祿を んだんも きみ 西一たーゆ

7 7 7 1 4 8-9 3 3 4 5 6 7 i- 1 7 6 5 5 9 9 6-6 5 3 4 2 3-1

ホ子ハクチ テ ナラゾノーコー ス ックニ シロモノウケ ヨーキー ミ  
んにの まも 王 よよのゐーあーみ ひるま たえせじ 七の ひーあーぞ

第九十一

招魂祭

一 土に奠る。君が靈園にさけて。

吾に白ひ骨ハ朽ちて。名をぞ踏ん。

机代抱うけ与君。

二 け所にまつる。我死の人身を碎く。

君の爲。國はまもる。世の世。

光りたにせ。そはひうら。



學口部集

各部

子部

1800

明治十七年三月二十九日出版屆

文部省藏版々權所有

明治十七年三月二十九日出版